

# 「病院外で心肺停止となった方の意思に沿った対応が、救急隊現場活動時間に影響を与えるか？」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年12月21日 ～ 2021年3月31日

## 〔研究課題〕

傷病者の意思に沿った、病院前内因性心肺停止傷病者の対応は、救急隊現場活動時間に影響を与えるか？

## 〔研究目的〕

人生の最終段階にある傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生等のあり方に関する提言が2017年4月日本臨床救急医学会より公表され、先行研究においても、傷病者の意思に沿わない蘇生治療が実施されている、との指摘がなされています。2013年に厚生労働省が実施した意識調査によると、約70%の国民が事前指示書の作成に賛同しており、自分で判断できなくなった場合、治療方針を定める人をあらかじめ決めておくことに関しても、約62%の国民が賛同しています。しかしながら、事前意思指示書の作成は約3%と低く、自身の延命治療に関して家族で話し合ったことがある国民は約48%にとどまっています。このような世相も相まって近年、救急現場において、事前意思指示書や家族等が推定する治療方針の伝達される事案が多くなってきています。事前意思指示書や家族等が推定する治療方針の伝達は、先行研究において、救急隊が考慮すべき様々な行動パターンが推察され、現場での滞在時間も延長する傾向にあります。今回東京都足立区一部地域における内因性心肺停止の救急要請を後方視的に検証し、事前意思指示書や、家族からの推定意思の提示状況を明らかにし、それらの傷病者の意思に沿った対応が、救急現場活動に与えた影響について考察することで、今後の基礎研究の資料とすることを目的とします。

## 〔研究意義〕

傷病者の意思に沿った対応が、救急隊の活動に影響を与えたのかという詳細な検討は、現在までなされていません。今回の検討が、今後の研究の基礎資料となることで、新たな課題や検討事項を明らかにできると考えています。

## 〔対象・研究方法〕

対象：2017年1月1日からの2020年9月30日までの間において、東京消防庁管内全域における65歳以上の高齢者の救急要請における内因性 CPA 事案に該当する約24,500名(推定値)となります。方法：①傷病者発生場所②事前意思指示書提示数と家族等が推定する治療方針の提示数③傷病者の希望する治療方針と救急隊の対応経過④搬送先医療機関について救急活動記録システムを用いて後方視的に分析します。事前意思指示書提示、家族等推定治療方針提示を「意思伝達あり」群、意思伝達が無かったものを「意思伝達なし」群として、フェーズ毎に調査(①現場到着～傷病者接触まで②傷病者接触～病院選定開始③病院決定所要時間④現場滞在時間)し、両群間を①対応の無い t 検定②Wilcoxon の順位和検定の2法にて比較し、更にロジスティック回帰分析を実施します。ロジスティック回帰分析では、年齢、性別、心肺停止の目撃の有無、バイスタンダーCPR の実施の有無、救急隊による器具を用いた気道確保、アドレナリン投与の有無、通報からCPR 開始までの時間、CPR 開始から救急医療機関収容までの時間(分)を調査します。

**〔研究機関名〕**

帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科救急救命士コース

**〔個人情報の取り扱い〕**

全ての研究データは、東京消防庁救急部救急管理課よりデータ提供を受けます。個人情報は、年齢と性別のみであり、個人情報が特定できないようになっています。さらに、大学でのデータ保管場所は、帝京大学大学院医療技術学研究科救急救護学専攻の大学院生パソコン(専攻教員室内における施錠可能な棚にて施錠管理)のHDD内とし、データ移動に際しては、東京消防庁が作成した規程に基づき実施します。パソコンを使用するごとに使用記録簿を記載します。さらに当該論文発表後10年間データを保管し、10年経過した際にはHDD 毎物理的破壊します。なお、本情報は死者の情報が含まれることになるため、倫理的配慮としてデータからも個人が特定されることの無いよう、持ち出しデータの秘匿化を2回実施し、すべてのデータは東京消防庁内のPCにて実施します。データ使用拒否の申し立てのあった情報の取り扱いについては、直ちに除外データとし取り扱います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

**問 い 合 わ せ 先**

研究責任者: 帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科救急救命士コース 教授 小菅宇之  
研究分担者: 帝京大学大学院医療技術学研究科救急救護学専攻前期博士課程 岡田知己

住所: 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 41918 ]